

第7回人間科学研究フォーラム

概 要

人間科学部では、「人間」にかかわる研究を進める他学部、センター等の教員及び地域の自治体・企業・施設等と連携した研究体制を構築することにより、地域で生活する人々がかかえる様々な問題の解決に向けて研究活動の活性化を推進するため、年2回「人間科学研究フォーラム」を開催することとしています。前回から引き続き、第7回目もオンライン開催となりました。

はじめに、福岡国際医療福祉大学医療学部視能訓練学科の堀川悦夫教授から「高齢者運転とモビリティ：運転可否判断から移動支援まで」と題して基調講演があり、高齢者の危険運転事例や免許更新時の検査などについて、実際の分析データや写真、映像を交えて分かりやすく示され、移動支援が重要であることを説明していただきました。

次に、人間科学部の2名の教員により、これまで行ってきた研究に関する事例紹介等の発表が行われました。心理学コースの石原宏准教授からは、「箱庭療法における見守りに関する探索的研究：実験場面におけるNIRSデータと内省から」と題し、臨床心理実践を神経科学的に基礎づけようとする試みについて実験の風景写真や分析結果を用いた発表をしていただきました。福祉社会コースの京俊輔准教授からは、「障害福祉サービス事業所における障害のある被疑者・被告人の受入に関する研究」と題し、福祉現場の調査結果を交え、受入の促進に向けた研究について説明いただきました。

記

日 時：令和3年9月24日（金） 14：00～17：00

会 場：Zoomによるオンライン開催

テーマ：共生社会の実現に向けた探索的研究とその応用

【講演会】

基調講演

「高齢者運転とモビリティ：運転可否判断から移動支援まで」

福岡国際医療福祉大学 医療学部 視能訓練学科 堀川 悦夫 教授

話題の提供

1. 「箱庭療法における見守りに関する探索的研究：実験場面におけるNIRSデータと内省から」

島根大学人間科学部心理学コース 石原 宏 准教授

2. 「障害福祉サービス事業所における障害のある被疑者・被告人の受入に関する研究」

島根大学人間科学部福祉社会コース 京 俊輔 准教授